

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 海星学院高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☒ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒050-0072
北海道室蘭市高砂町 3-7-7

E-mail kaisei@kaisei-gakuin.ed.jp

Website http://kaisei-gakuin.ed.jp/

児童生徒数 男子 80 名 女子 153 名 合計 233 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☒ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☐ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☒ そのほか（東北支援）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

「開発途上国の理解と支援及び東北支援」を中心に、持続可能な社会の担い手の育成を本校のESD目標として、次の通り活動した。

【4月】

① 病院内ボランティア参加＜資料 01、02＞

【日時】3/24-4/9、7/22-8/7、12/24-1/15 【場所】室蘭市山手町

【内容】市立室蘭総合病院主催同ボランティアに希望者7名が参加。病院内にて移動介助・受付カード機操作・花壇の手入れなどの活動を行う。同病院にて7/22-8/7（参加19名）、12/24-1/15（参加10名）にも実施。

② 地域・通学清掃＜資料 03＞

【日時】4/4-

【場所】室蘭市高砂町・母恋南町

【内容】地域の新生や市民に気持ち良く道路を利用してもらうことを目的に実施。有志生徒が参加。その後、年間を通じ、随時実施。

③ 国際ソロプチミスト室蘭チャリティーコンサート ボランティア参加

【日時】4/11

【場所】室蘭市輪西町

【内容】国際ソロプチミスト室蘭主催同コンサートが室蘭市民会館で開催され、本校から生徒7名がボランティアとして参加。受付や会場案内の補助を行なう。収益は難民救済や被災地支援にあてられた。

④ 「世界の笑顔のために」プログラム参加＜資料 04、05＞

【日時】4/1-5/15、10/1-11/16

【場所】本校

【内容】JICA（独立行政法人国際協力機構）主催の同プログラムは、開発途上国で必要とされている、スポーツ、文化、教育、福祉などの関連物品を、派遣中のボランティアを通じ、世界各地へ届けるもので、本校は2012年5月より参加。今年度も全校生徒が回収に参加、メディア・市民の協力もあり、JICAを通じて多くの物資を開発途上国に送付。各国から礼状が届き、校内に掲示。

【5月】

① 世界一大きな授業実施＜資料 06＞

【日時】5/13

【場所】本校

【内容】教育協力NGOネットワーク主催の同授業に全校生徒が参加。今年度の授業では、JICA北海道市民参加協力課より二見伸一郎氏を講師としてお迎えした。エチオピアの教育事情と国内格差及びJICAについて理解を深める。

② アメリカの高校生との文通

【日時】5/19

【場所】本校

【内容】アメリカ修学旅行で交流がある公立高校Edina High School（ミネアポリス州）の生徒との文通。4月には本校生徒から手紙を送り、5月には相手校より返事が届く。互いの言語で手紙を書き、相互理解を深める。

③ 室蘭港客船寄港に伴う英語でチャレンジショップ開催＜資料 07、08＞

【日時】 5/29、9/12

【場所】 室蘭市崎守町

【内容】 豪華客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の室蘭入港にともない、本校生徒が商品開発・販売体験。出資金 5 万円を利用し、仕入れ価格・必要諸経費から販売価格を設定。接客では多くの外国人と英語で交流。国際交流をしながら、起業から販売・決算までの経済の仕組みについて学び、コミュニケーション能力を高める。

【6 月】

① 留学生交流事業（マレーシア連邦）実施＜資料 09＞

【日時】 6/9

【場所】 本校

【内容】 国際理解を目的に、2012 年より室蘭工業大学の留学生との交流事業を実施。同大学准教授門澤健也氏の協力。マレーシア連邦からの留学生 3 名を招く。留学生らによる講義、マレーシア料理指導を通じ、生徒は同国における多民族の共生、イスラム教の戒律、学生の生活・同国の衣食住について学ぶ。インターナショナルクラブの生徒を中心に 31 名がこれに参加。

② 「世界難民の日」特別講演会実施＜資料 10＞

【日時】 6/16

【場所】 本校

難民の保護と援助に対する世界的な関心を高めることを目的とした世界難民の日（6/20）の趣旨に賛同し、UNHCR の公式支援窓口である国連 UNHCR 協会より水野慎也氏を講師としてお迎えし、全校対象の講演会を実施。生徒は、シリアやミャンマーの難民を題材に、世界の難民についての概要、難民キャンプの様子、UNHCR の取り組みについて理解を深め、自分たちにできる支援について考える必要性を学ぶ。

③ カンボジア王国への物品支援実施

【日時】 7/8 - 7/17

【場所】 本校

【内容】 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター主催高校生・アジアの架け橋養成事業において、本校生徒 1 名が選考の結果、全道の高校生 10 名に選出されたことを受け、当該生徒が中心となって、同国への支援物資の提供を全校生徒に呼びかける。文具や玩具が集まり、8 月に派遣生徒を通じ、同国へ贈呈。なお、生徒は事前学習のため、室蘭工業大学大学院内海佐和子准教授より、同国の世界遺産やインフラ整備、言語についての講義を受ける。

【7 月】

① 東北ボランティア生徒派遣事業実施

【日時】 7/7-11

【場所】 岩手県釜石市

【内容】 室蘭ユネスコ協会の指導・協力のもと東北への生徒ボランティア派遣（4 泊 5 日）。代表生徒 6 名は、NPO 法人カリタス釜石が運営するカリタス釜石ベースに滞在し、傾聴を主としたボランティア活動を行う。日本ユネスコ協会連盟の協力で、釜石ユネスコ協会への表敬訪問、室蘭商工会議所の協力で釜石商工会議所（山崎長也会頭）への表敬訪問を実現。これらの交流や体験を通じて、各地の復興の足取りや東北の現状について理解を深める。

② 小学校英語活動（外国語活動）協力ボランティア派遣＜資料 11、12＞

【日時】 7/8、22

【場所】 室蘭市東町

【内容】 室蘭市立海陽小学校との連携事業である同ボランティアに、本校生徒 20 名が参加。小学 6 年生を対象に、諸外国について英語でプレゼンテーションを実施。教育実践者の立場から英語を使用し、国際理解教育について理解を深める。

③ 講演会「税に関する講演会」実施＜資料 13、14＞

【日時】 7/13

【場所】 本校

【内容】 室蘭税務署広報広聴官を招き、1・2 年生を対象に、税に関する講演会を開催。税の役割や種類、少子高齢化と税についての講演を通じ、税から持続可能な社会について考えを深める。なお、この講演後に取り組んだ平成 27 年度「税に関する高校生の作文」において、生徒 1 名が札幌国税局長賞、生徒 1 名が室蘭税務署署長賞を受賞。

④ 救急救命講習実施＜資料 15＞

【日時】 7/8-10、22

【場所】 本校ほか

【内容】 7/8-10、保健の授業の一環として、日本赤十字社救急指導員を招き、2 年生を対象に同講習を実施。心配蘇生法や AED について学び、訓練を実施。また 7/22 には市立室蘭総合病院にて、同病院医師より 1-2 年生 18 名を対象に心配蘇生法や AED の使用法についての指導を頂く。

⑤ 海岸清掃ボランティア実施＜資料 16＞

【日時】 7/22-23

【場所】 室蘭市母恋南町

【内容】 2012 年より、市内の海岸清掃を実施。今年度は、2 日間、生徒・教員 28 名がトッカリショなどの海岸のゴミ拾いを行い、ゴミ袋（40ℓ）62 袋を集め、奉仕の精神を培い、環境への意識を高める。

⑥ 防災学習プログラム実施＜資料 17＞

【日時】 7/24、7/29、7/31-8/1、1/7、16

【場所】 室蘭市入江町ほか

【内容】 自然との関わり方を学び、自然への畏敬の念を高めること、及び防災の知識を周囲や次世代に伝えられる緊急時の率先者の育成を目的に同プログラムを実施。7/24 には室蘭海上保安部職員より海での自己救命について、7/31-8/1 には鷲別岳で、室蘭市防災課及び室蘭ネイチャーセンター菅野三知博代表らより山岳救助について、講習・訓練を実施。海難救助時の注意事項や登山方法や危険な動植物について学ぶ。1 月には雪山救助訓練を実施。

⑦ 韓国語講座実施＜資料 18＞

【日時】 7/27-28

【場所】 本校

【内容】 韓国語を学ぶことで、その国の文化や歴史なども学び、国際理解を深めることを目的に、室蘭工業大学留学生による同講座を開講。同大学准教授門澤健也氏の協力。生徒 12 名が参加。ハングル文字の構成や挨拶、曜日、数字、時間、童謡などについて理解を深める。

⑧ 道南バス・海星学院東北支援プロジェクト実施＜資料 19＞

【日時】 7/30-

【場所】 室蘭市内

【内容】 道南バス株式会社の協力で実現。東北ボランティア生徒派遣事業で撮影した現地の様子をもとに、市民向けの啓発ポスターを作成。6 作品を同社のバス車内に掲示。

【8 月】

① 高校生・アジアの架け橋養成事業参加＜資料 20＞

【日時】 8/2-9

【場所】 ベトナム社会主義共和国

【内容】 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター主催の同事業に、本校生徒 1 名が全道の高校生代表 10 名に選出され、ベトナム社会主義共和国でのスタディツアーに参加。現地の子どもたちや NGO との交流・視察を通して、同国の歴史と現状や国際協力についての理解を深める。

② 高校生国際協力プログラム参加

【日時】 8/5

【場所】 札幌市白石区

【内容】 JICA 北海道主催の同プログラムに希望者が参加。生徒は同センターの探検や、青年海外協力隊の体験談（ザンビアでの国際協力）から、JICA の国際協力について理解を深める。

③ 教員向けカンボジアスタディツアー参加＜資料 21＞

【日時】 8/12-16

【場所】 カンボジア王国

【内容】 日本ユネスコ協会連盟主催の同事業に、市川栄作教諭が全国の教員 5 名に選出され、カンボジア王国でのスタディツアーに参加。同国の教育施設や農村の視察、同国の子ども・教員・村民・NGO スタッフらとの交流を通して、同国の教育支援についての理解を深める。

④ 第 2 回高校生カンボジアスタディツアー参加＜資料 21＞

【日時】 8/12-21

【場所】 カンボジア王国

【内容】 日本ユネスコ協会連盟主催の同事業に、本校生徒 1 名が全国の 10 名に選出され、カンボジア王国でのスタディツアーに参加。同国の教育施設や農村の視察、現地の子どもたちや NGO との交流を通して、同国の歴史と現状や国際協力についての理解を深める。室蘭ユネスコ協会の支援を頂く。

⑤ 清泉幼稚園との交流事業実施＜資料 22＞

【日時】 8/22

【場所】 室蘭市祝津町

【内容】 同園（ユネスコスクール認定園）のイベント「清泉まつり」の手伝いボランティア。参加生徒 29 名は出店を担当し、園児・保護者らと交流。

⑥ アイアンマン・ジャパン北海道ボランティア参加

【日時】 8/23

【場所】 洞爺湖町

【内容】 アイアンマン・ジャパン北海道実行委員会主催の同大会にボランティアとして本校生徒 89 名が参加。レースの大会補助員として、英語を使用しながら、選手の誘導、給水などを手伝い、奉仕の精神を培う。

【9 月】

① 東北ボランティア生徒派遣事業校内報告会実施＜資料 23-26＞

【日時】 9/1、9/19、10/24

【場所】 本校

【内容】 同事業に参加した生徒による全校生徒対象の報告会。活動を通じて交流した方々や、ボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。なお、この報告内容は室蘭民報に連載される。この講演を機に校内募金活動を展開し、東北の NPO に送付。9/19、10/24 に本校で実施された中学生向けの学校説明会でも中学生及び保護者を対象に報告会を実施。

② 幼高連携プロジェクト

【日時】 9/12

【場所】 室蘭市高砂町

【内容】 付属幼稚園で行われた運動会に、ボランティアとして本校生徒 8 名が参加。準備の段階（運動会の全体リハーサル）から携わり、「先生」の一員として運動会の運営を担う。幼稚園教諭の仕事や行事運営について学ぶ。

③ 世界食料デー登別大会「プレ大会」ボランティア参加

【日時】 9/18-20

【場所】 登別市中央町、本校

【内容】 同実行委員会主催。大型スーパーで開催された同大会に、ボランティアとして本校 3 名の生徒が参加。インドの食糧問題に苦しむ子どもたちが描いた絵画の他、国際連合食糧農業機関（FAO）のパネルを展示。来場者の案内・パンフレット配布を通じて、世界の食料問題への募金協力を呼びかける。これに先立ち、6 月には事前研修が実施され、元青年海外協力隊員による講演会「キルギスにおける体験を現在に生かす」が開催され、世界と地域の食料問題についての理解を深める。

【10 月】

① S D G s ポスター作成＜資料 27＞

【日時】 10/2-3/31

【場所】 本校

【内容】 2015 年 9 月 25-27 日にニューヨーク国連本部で開催された国連持続可能な開発サミットを受け、S D G s の啓発を目的に生徒会がポスターを作成し、校内に掲示。

② 高校生創業プラン

【日時】 10/3

【場所】 室蘭市中島町

【内容】 室蘭商工会議所主催の同事業に本校生徒 2 チームが参加。幼稚園の先生のためのお弁当配達サービスや、乳幼児からの食事デリバリーサービスなど社会貢献につながるビジネスプランを考案し、プレゼンテーションを実施。プレゼンテーションコンテストにおいて、両チームとも審査員特別賞を受賞。

③ アメリカ修学旅行実施

【日時】 10/7-25

【場所】 アメリカ合衆国

【内容】 2 年生対象。同国ミネソタ州にある姉妹校 Benilde-St. Margaret's School、公立高校の Edina High School、South West High School との交流やホームステイの体験を通じて、相互の文化的な違いを学び、国際感覚を養う。

④ 世界食料デー登別大会「本大会」ボランティア参加

【日時】10/12

【場所】登別市富士町

【内容】同実行委員会主催。世界の貧困・食料問題に関する啓発活動を目的とした同大会が登別市民会館で開催され、ボランティアとして本校生徒 5 名が参加。近隣の高校の生徒とともに、受付や会場や舞台の準備、募金活動を行う。また、国際協力 NGO 声なき者の友の輪インターナショナル神田英輔氏の講演「ルワンダを再び訪ねて」から、開発途上国への理解を深める。また、事後活動として11/28に同実行委員会主催高校生ミーティングが開催され、本校の ESD について、他校生徒に紹介。

⑤ 第 49 回北海道ユネスコ大会・2015 年度北海道ブロックユネスコ活動研究会参加

【日時】10/18

【場所】室蘭市中央町

【内容】北海道ユネスコ連絡協議会・公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催。生徒 6 名がこれに実践発表者として参加。本校の ESD の概要や特色について発表した他、公益社団法人日本ユネスコ協会主催第 2 回高校生カンボジアスタディツアー参加生徒、教員向けカンボジアスタディツアー参加教員が「カンボジア派遣報告会」を、東北ボランティア派遣事業に参加した生徒が「東北ボランティア報告」の発表を行う。北海道登別明日中等教育学校（ユネスコスクール認定校）や北海道大谷室蘭高等学校、清泉幼稚園（ユネスコスクール認定園）と連携。

⑥ 東北ボランティア生徒講師派遣＜資料 28、29＞

【日時】10/22、11/18、1/21

【場所】室蘭市・登別市

【内容】東北ボランティア生徒派遣事業の派遣生徒 6 名が、活動を通じて交流した方々や、ボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。10/22 には登別市立西陵中学校の全校道徳授業にて講演。11/18 には室蘭東ロータリークラブ 11 月例会にて講演。1/21 には室蘭市立翔陽中学校の全校道徳授業にて講演。

⑦ 「高校生チャレンジ・ショップ in むろらん」参加＜資料 30、31＞

【日時】10/24、11/21

【場所】室蘭市

【内容】室蘭商工会議所主催の同事業に本校生徒 15 名が参加。10/24 には、模擬会社設立・販売計画を立案・商品発注体験。POP 作成や商品陳列のための準備を経て、11/21 には、市内大型商業施設で販売体験。12/5 に決算報告会が実施され、活動を総括した。

⑧ カンボジア派遣報告会実施＜資料 32＞

【日時】10/28

【場所】本校

【内容】公益社団法人日本ユネスコ協会主催第 2 回高校生カンボジアスタディツアー参加生徒、教員向けカンボジアスタディツアー参加教員が「カンボジア派遣報告会」を、全校対象に実施。都市と農村の格差・児童労働・都市の中の格差について紹介し、同国の内戦と貧困の問題を説明。同連盟が運営する寺子屋の教育支援をはじめとすると住民の主体性を育む試みが成功している様子が報告され、開発途上国の現状と世界寺子屋運動について理解を深める。

⑨ 世界寺子屋運動参加＜資料 33、34＞

【日時】10/29-2/26

【場所】本校、室蘭市内

【内容】公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催。2011 年からの継続事業。支援対象国カンボジアの歴史・世界遺産・現状について学び、希望者が協力を呼びかけるリーフレット作成を開始。11/10 にリーフレットが完成し、校内外で書き損じはがき・未使用はがきの回収活動を開始。また、代表 2 作品をリーフレットコンテストに応募。さらに、室蘭ユネスコ協会にリーフレットを寄贈。同協会がこれらを室蘭市内の各教育機関に配布した他、道南バス株式会社、室蘭市、室蘭社会福祉協議会、登別社会福祉協議会、本校関係団体がリーフレットの配布や掲示に協力。運動に協力して下さった市民には礼状を送付。5 年目になるが、協力団体が増加するなど、運動に広がりが出た。3 月下旬に室蘭ユネスコ協会への贈呈式を予定。

⑩ 2015 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト参加

【日時】10/29-3/20

【場所】本校

【内容】ジャパンアートマイル主催の同プロジェクトに 2 年生全員が総合的な学習の一環として参加。フィジー共和国 Jasper Williams High school (ユネスコスクール) と壁画 (縦 1.5m×横 3.3m) を共同で制作し、展示を通して世界の調和と平和を訴える。電子掲示板を駆使した交流で絵画のテーマやデザインを決定。生徒が壁画の半分の作成を担当した。

⑪ ニュージーランド語学研修実施

【日時】10/30-12/1

【場所】ニュージーランド

【内容】語学力向上と異文化理解を目的に実施。生徒 10 名が参加。参加生徒は、Liston College または St. Dominic's College に通学。現地高校生と行動を共にするバディープログラムを体験。

【11 月】

① 「夢を拓く女子中高生のためのキャリアサポート」参加＜資料 35＞

【日時】11/6

【場所】本校

【内容】国際ソロプチミスト室蘭主催の同事業に女子生徒 14 名が参加。女性の社会的自立を支援する目的で、同会員の 9 名の方々より講話を頂く。社会で活躍する女性の体験談を通じて、社会貢献、進路、コミュニケーションスキルについての理解を深める。

② 第 4 回北海道 ESD・ユネスコスクール研修会 実践発表

【日時】11/15

【場所】札幌市

【内容】北海道教育大学・ESD 推進センター、北海道ユネスコ連絡協議会主催の同会に、公益社団法人日本ユネスコ協会主催第 2 回高校生カンボジアスタディツアー参加生徒、教員向けカンボジアスタディツアー参加教員が参加。「カンボジアスタディツアー視察体験発表」を実施。

【12 月】

① 2015 年度国際ユース作文コンテスト表彰式参加＜資料 36＞

【日時】 12/1

【場所】 東京都

【内容】 公益財団法人五井平和財団主催同コンテスト若者の部において優秀賞を受賞した生徒が、2015 年度同財団フォーラムの招待を受け、表彰式に参加。同フォーラムを通じ、ユネスコ憲章及びファンドレイジングについての理解を深める。

② 東北支援クッキープロジェクト実施＜資料 37＞

【日時】 12/11-12

【場所】 本校

【内容】 東北ボランティア生徒派遣事業で縁の深い岩手県釜石市へ、クリスマスプレゼントとしてクッキー1、600 枚（400 人分）を有志生徒 40 名が作製。NPO 法人カリタス釜石を通じ、釜石の方々へ贈る。

③ フィリピンへの物品支援実施＜資料 38＞

【日時】 12/17-1/19

【場所】 本校

【内容】 生徒会が中心となって、卒業する 3 年生の使っていた運動靴を対象に収集活動を展開。運動靴 57 足を、2016 年 1 月に市民団体 OTARU ワールドフレンズ（小樽市）を通じて、同国の教育施設に贈呈。

④ 「第 3 回高校生ビジネスグランプリ」表彰伝達式参加＜資料 39＞

【日時】 12/21

【場所】 本校

【内容】 若者の起業教育推進を目的とした日本政策金融公庫主催の同グランプリにおいて、本校 2 年生 3 名のチームが「ベストプラン 100」に選出される。活動を通じ、経済・企業活動についての理解を深める。

【1 月】

① 雪かきボランティア参加＜資料 40＞

【日時】 1/7-3/31

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭社会福祉協議会主催のボランティアに生徒 56 名が登録。2011 年からの継続事業。高齢者などの雪かき困難者宅 9 軒を担当。なお、同ボランティア作文コンテスト高校生の部において、本校生徒 1 名が最優秀賞受賞。

② 「かめのりフォーラム 2016」参加

【日時】 1/8-9

【場所】 東京都

【内容】 公益財団法人かめのり財団主催同フォーラムに、同財団から支援を受けカンボジアに派遣された生徒が参加。同国の体験発表を行なった他、草の根で日本とアジア・オセアニアの相互理解の増進に貢献している方々や来日している留学生との活発な意見交換を通じ、異文化理解・国際交流への多くの人の積極的な挑戦の必要性を学ぶ。

③ 講演会「法律教室」実施＜資料 41＞

【日時】 1/18

【場所】 本校

【内容】 札幌司法書士会主催の同講演会を、3 年生 68 名を対象に実施。消費者トラブル・労働問題への注意喚起や未然防止を目的とした講演を通じ、キャッシングや悪徳商法、労働契約についての理解を深める。

④ 講演会「選挙啓発出前講座」実施＜資料 42＞

【日時】 1/19

【場所】 本校

【内容】、北海道選挙管理委員会事務局胆振支所、室蘭市選挙管理委員会主催の同講演会を全校生徒を対象に開催。選挙権年齢の 18 歳以上に引き下げる法律改正の趣旨をはじめ、投票の意義や、選挙活動及び違反行為について理解を深める。また、模擬投票を通じて、主権意識を高めた。

⑤ 「学生ボランティア研修会」参加

【日時】 1/30

【場所】 登別市

【内容】、社会福祉法人登別市社会福祉協議会登別市ボランティアセンター主催の同研修会に、本校生徒 2 名が参加。一般社団法人 Wellbe Design 代表理事 篠原辰二氏による「学生ボランティアについて」をテーマとしたワークショップを通じ、ボランティアについての学びと理解を深める。

【2 月】

① JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2015 全国表彰式参加＜資料 43＞

【日時】 2/28

【場所】 東京都

【内容】 高校生の部で審査員特別賞を受賞した生徒が参加。国際協力を志す同年代との交流や、JICA 地球ひろばの見学、記念公演「地球のステージ」の鑑賞を通じ、国際協力についての理解を深める。生徒は、副賞である海外研修（ベトナム社会主義共和国：2016 年夏）に参加する予定。

【3 月】

① カンボジア王国への物品支援実施

【日時】 3/4

【場所】 本校

【内容】 開発途上国への物品支援を目的に収集した鍵盤ハーモニカなどの楽器を認定 NPO 法人 JHP・学校をつくる会を通じて、同国の教育施設に贈呈。

② 復興祈念行事「3.11 の集い」開催（予定）

【日時】 3/11

【場所】 本校

【内容】 東日本大震災より現在まで、本校の支援活動と現地の復興状況を振り返り、本校の支援事業を総括することを目的に、全校で実施。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

■ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他（

）